

筑前国怡土庄故地現地調査速報

服部, 英雄
九州大学大学院比較社会文化研究院 : 教授

<https://doi.org/10.15017/1520164>

出版情報 : 1999-12-31. 服部英雄研究室
バージョン :
権利関係 :



はじめに

服 部 英 雄

わたしは平成7年から9年にかけて、九州大学文学部および大学院人文科学研究科の非常勤講師として、箱崎の文学部で国史学演習を開講した。その時に教材としたのは新城常三・正木喜三郎編『筑前国怡土庄史料』（九州荘園史料叢書）である。前期・後期の半期毎に輪読と怡土庄現地の調査を繰り返した。現地調査のレポートも数多く作成された。もちろん広大な怡土庄故地に比すれば、調査地域は少ない。とはいえ現段階でもいくつもの新知見が得られている。今回『地域資料叢書』の第4冊目として、その時の学生レポートを、『筑前国怡土庄故地現地調査速報』として刊行することとした。あえて速報として刊行する意味は、正式の報告書を刊行するとなると、今後かなりの調査期間を必要とすること、取りあえず今までの調査分を刊行し、ご協力いただいた地元の皆様に成果を報告するとともに、既調査分を共有のものとして、今後の調査研究の進行を円滑にしたいと考えたからである。

本書の構成は、前半の各地域毎の学生レポートと、後半の全体の考察に関わるレポート、刊本『怡土庄史料』の正誤訂正からなる。地図編は当然に必要なものだが、精度及び経費の関係上、その刊行は後日を期すことにした。ただし調査の便宜を考え、若干部数のコピー図を作成し、別記公共図書館に備えることとした。